

ADVANCE

TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE

02, 03	卒業式・修了式、入学式、進路一覧
04, 05	内定者インタビュー
06, 07	こんにちは!先輩
08, 09	受賞
10, 11	NEWS FILE
12	創造性開発センターで工学を極めよう!
12	COVER STORY

進むなら
足跡のない方へ。

vol. 121



CONGRATULATIONS

2024年度 卒業式・修了式

2024年度卒業式・修了式を3月19日に豊田喜一郎記念ホールで挙行了しました。本年度の工学部卒業生は90名、大学院工学研究科修士課程修了生は50名です。初めに、保立和夫学長から、学部代表の鬼頭佑昇さん(制御システム研究室/名古屋大学教育学部附属高等学校[愛知県]出身)、修士課程代表の武次広夢



株式会社デンソー 技能人財養成部長 今泉直仁氏

さん(知能情報メディア研究室/小野高等学校[兵庫県]出身)に、それぞれ学位記が授与されました。保立学長は、「豊かな社会の実現に向けて大いに活躍し、『心を磨く』努力を生涯続けて欲しい」と告辞を述べました。次に、学校法人トヨタ学園増田義彦理事長および、来賓の方々を代表して株式会社デンソー技能人財養成部長今泉直仁氏より祝辞を頂戴しました。続いて、在学学生を代表し、飯田昌治さん(向陽高等学校[愛知県]出身)による送辞が贈られた後、卒業生を代表して高橋淳さん(半導体研究室/浜松北高等学校[静岡県]出身)、修了生を代表して今枝寛人さん(スピントロニクス研究室/丹羽高等学校[愛知県]出身)が、それぞれ謝辞を述べました。



保立和夫学長



式の様子をおさめた動画、学長式辞全文などをホームページで公開中



増田義彦理事長

2025年度入学式を4月1日に豊田喜一郎記念ホールで挙行了しました。学部1年次105名、高等専門学校からの編入生6名、大学院修士課程47名、大学院博士後期課程3名の方が入学しました。保立学長より新入生に向けた式辞が贈られた後、増田理事長より「皆さんが本学で学び続ける中で、“誰も見たことのない知を生み出したい”という気持ちが自然と湧き上がってくる、そんな日がやってくると私は信じています」と祝辞が贈られ



豊田工業大学シカゴ校(TTIC) Matthew Turk学長

した。また、TTICのMatthew Turk学長もお祝いに訪れ「世界中の学術や技術に興味を寄せ、米国やその他の地域で物事がどのように行われているかを学びましょう」と、国際的な目線を持つことの重要性について語り、お祝いのメッセージとして贈られました。在学学生を代表し、学部3年の末川慧樹さん(鳳凰高等学校[鹿児島県]出身)が歓迎の言葉を述べました。続けて、2025年度入学生代表として、学部の刈谷勇賢さん(滝高等学校[愛知県]出身)、大学院の佐藤健吾さん(制御システム研究室/向陽高等学校[愛知県]出身)がそれぞれ誓いの言葉を述べました。



2024年度(令和6年度)

卒業・修了生の進路状況

就職決定率

100%

第一志望への就職率

82%

卒業・修了生の進路(就職は内定状況) ()は昨年実績人数

	学部			修士課程			博士後期課程		
	社会人	一般	留学生	社会人	一般	留学生	社会人	一般	留学生
企業復帰	9(10)			0(1)			0(2)		
就職		27*(22)			46(39)			0(2)	0(1)
進学	1(0)	52(62)			2(3)				
その他(未定・帰国等)		1(0)				2(0)			
卒業・修了者【満了者】	10(10)	80(84)		0(1)	48(42)	2(0)	0(2)	0(2)	0(1)
合計	10(10)	80(84)		0(1)	48(42)	2(0)	0(2)	2(4)	0(1)
		90(94)			50(43)			2(7)	

※学部(一般・就職)のうち3名は2024年9月末卒業

一般学生の就職先企業(50音順) (名)

学部(27名)	
企業名	人数
アイシン	2
アドヴィックス	1
住友電気工業	1
大同特殊鋼	1
立花エレクトック	1
中外炉工業	1
東海理化	1
東芝インフラシステムズ	1
東芝テック	1
トヨタ自動車	4
トヨタ自動車九州	1
トヨタ自動車東日本	1
豊田自動織機	2
トヨタ車体	2
浜松ホトニクス	1
フジキカイ	1
古河電気工業	1
MARUWA	1
三菱電機	2
航空保安大学校(国土交通省)	1

修士(46名)	
企業名	人数
アイシン	3
ウイングアーク1st	1
川崎重工業	1
京セラ	1
クボタ	2
興和	2
Sansan	1
シスメックス	1
島津製作所	2
SCREENセミコンダクターソリューションズ	1
積水化学工業	1
千代田化工建設	1
TDK	1
デンソー	2
東海旅客鉄道(JR東海)	2
トヨタ自動車	5
トヨタ自動車九州	1
豊田自動織機	5
トヨタ車体	2
トヨタバッテリー	1
日本電子(JEOL)	1
日本電信電話(NTT研究所)	1
パナソニック	1
パナソニックオペレーショナルエクセレンス	1
FUJI	1
ブラザー工業	1
古河電気工業	1
三菱電機エンジニアリング	1
矢崎総業	2

参考 一般学生の就職先企業累積上位 (名)

学部・修士 1995年~	
企業名	人数
アイシン	128
トヨタ自動車	126
豊田自動織機	76
デンソー	70
豊田合成	41
三菱電機	41
矢崎総業	39
本田技研工業	38
トヨタ車体	36
ジェイテクト	35
東海理化	32
トヨタ紡織	30
トヨタシステムズ	18
ソニーグローバルGM&O	18
住友電気工業	18
アドヴィックス	17
ダイキン工業	16
パナソニック	16
ダイハツ工業	15
愛三工業	14
フタバ産業	14
キャノン	13
スズキ	13
協豊製作所	12
トヨタテクニカルディベロップメント	12
小島プレス工業	11
日野自動車	11
日本精工	9
トヨタ自動車東日本	9
日立製作所	8

Go Forward,
Beyond the Frontier



聞かせて！あなたの就職活動

就職活動にどう活かす??
学外実習の経験

今年も著名400社実就職率ランキング1位*に輝いた豊田工大。内定を獲得した学生から話を聞くと、「学外実習での経験が就職活動に活かした」という声が多く聞かれます。今回はその学外実習での経験にスポットを当ててインタビューを行いました。

*大学通信 大学探しランキングブック 2025年度版

学外実習とは？

1981年の開学以来、企業と連携した実践的な教育を重視し、「学外実習」を1年次および3年次の必修科目としています。実習前に目的や心構えなど事前学習を行った上で、企業で社員の方と同様に“出勤”して実習を行います。学内教育と学外実習とで教育の相乗効果を生み出すものとなっています。

①学外実習Ⅰのねらい（1年次後期、4週間）

大学で学ぶ工学と企業における「モノづくり」である工業の関係を実際の現場で学び、社会人になるための心構えを身につけることを目的としています。現場体験を通して、社会で活躍するためのマナーや協調性、コミュニケーション能力の重要性を理解します。

②学外実習Ⅱのねらい（3年次後期、5週間）

企業での技術的な課題解決を通して、大学で学修した工学の知識を実践的に活用し、解析力や判断力、課題解決能力を向上させます。創造性を高め、コミュニケーションの重要性を学びと共に、より深い学びへの意欲を高めることを目指します。

File

01

〈学部〉



IMA FUKUMOTO

福本伊真さん

（鳥栖高等学校【佐賀県】出身）

内定先 研究室
トヨタ自動車株式会社 表面科学研究室
研究テーマ
オスミウム触媒を用いたカーボンナノチューブの成長に関する研究

学外実習で /

企業で働く方々の「リアル」を知る

私は内定先企業が3年次の学外実習先であったため、社内の雰囲気や皆さんの働き方、仕事に対するマインドなど、「リアル」を知った上で就職活動を進められ、幸運だったと思います。就業先の制度などをうまく活用して、ワークライフバランスを上手に保ち、仕事に打ち込む社員の方々の姿を現場で目の当たりにし、私も自分自身と向き合い、社会に出た後、どのように人生を歩むかについて深く考えることができました。大学では物質工学専攻でしたが、電子情報・機械システム両分野も学修してきたので、幅広い知識を活かして課題を解決できるエンジニアを目指したいと思っています。

トヨコウMEMORY★

軽音楽同好会での活動が大学生活の思い出の一つです。副サークル長を務めた経験は、自分自身の成長につながったと考えているため、就活の面接の中で、エピソードとしてよく取り上げました。コロナの影響で先輩からの引継ぎが難しい中、音楽機材の拡充や新入部員集め、ライブイベントの開催、大学祭のステージ演奏など、模索しながらも、みんなで力を合わせて頑張ってきたなと思っています。



軽音楽同好会は、学内にある「ミュージックスタジオ」などで練習を重ね、天樹祭ステージで演奏を披露

File

03

〈学部〉



MAKOTO KIZAWA

木澤誠さん

（名古屋高等学校【愛知県】出身）

内定先 研究室
三菱電機株式会社 熱エネルギー工学研究室
研究テーマ
ノズル内キャビテーションの初生と発達に及ぼす液体の粘性の影響

学外実習で /

社会における工学の役割を学ぶ

豊田工大では学外実習が学部1年次と学部3年次の2度もあり、社会において工学がどのような役割を担っているのかを考察できる、実践的な機会だと思っています。実際に近い形で勤務することで、工場における製造工程の仕組みや、モノを大量生産することの難しさを真に体験できることから、現場見学や短期間の職場体験とは、意義が大きく異なると思います。3年次には実際の研究開発部門に身を置くことができ、大学の学修で培った知識や能力が、現場でどのように活かせるかを具体的に理解することができます。また、学外に身を置くことで、自分の実力で更なる努力が必要となることを客観的に把握することができ、私は英語力の向上を必要と感じたため、それを励みに取り組みました。

トヨコウMEMORY★

3年次の「創造性開発セミナー」では、ペンを握る手でノートなどに影ができないデスクライトの製作に取り組みました。課題設定や手順、プログラミング、スケジュール管理など一貫したプロセスにおいて、メンバーと協力し、苦勞を乗り越え2位に入ることができました。



創造性開発セミナーの様子。木澤さんのチームの作品名は「影無者」。ネーミングセンスも光る

File

02

〈修士〉



KASUMI OHNO

大野花純さん

（一宮高等学校【愛知県】出身）

内定先 研究室
日本電信電話株式会社(NTT) 知能数理研究室
研究テーマ
深層学習による多変量長期時系列データの自動生成

学外実習で /

「チームで行う研究」の魅力を感じる

研究職を経験した3年次の学外実習が、「修士課程への進学」という決断に大きく影響しました。修士進学後も、職種について迷いがありましたが、研究の楽しさを知り「研究職に向いているのでは」と自己分析し、内定先での就業を志望しました。学外実習では多くの人と関わり、多様な観点をもとに議論を重ねてベストを導き出すという、「チームで行う研究」に魅力を感じました。また、大学の研究室でも、研究テーマが異なる仲間との議論から新しい発見があったり、先輩からは「少なくとも自分の研究テーマについては、世界一詳しいぐらいでない」という励みの言葉をかけてもらったり、個人の能力を高めることと、チームで刺激し合うことの大切さを実感。「楽しい」と思える研究を仕事にできるのは、とてもありがたいこと。何かカタチとしてこの世に残る成果の創出を目指して研究に取り組みたいです。

トヨコウMEMORY★

ピザを買ってきて、久方寮の交流スペースでクリスマスパーティを開きました。気心知れた友人と、気軽に集まって、楽しいひとときを一緒に過ごせるのは、久方寮の魅力の一つだと思います。学部1年次の寮での暮らしは、勉強を教え合ったり、手の込んだ料理にチャレンジしたり、大学での良い思い出になっています。



みんなでワイワイ、ピザパーティ。個人で過ごす居室だけではなく、交流スペースがあるのも寮生活の魅力

File

04

〈修士〉



KEITA MANABE

真鍋慧大さん

（大宮高等学校【埼玉県】出身）

内定先 研究室
株式会社島津製作所 流体工学研究室
研究テーマ
超小型火星探査機の火星大気突入特性に対するダストストームの影響解析

学外実習で /

「分析機器」の無限の可能性に気づく

分析機器を実務で扱う貴重な経験を学外実習で得ました。企業の研究現場では分析機器がどのように活用されているかを知り、より一層興味が深まりました。分析対象の多様化・高度化・複雑化が進む現代社会において、高度な分析技術へのニーズは高まる一方です。また、膨大なデータを効率的に処理するための技術も急速に進化しています。分析機器が直面するこれらの課題は、同時に大きな可能性を秘めていると感じました。まさに、実習で得られた気づきや経験が、分析機器を製造する内定先企業への志望動機につながったと考えています。このように学外実習は、私の就職活動の「軸」に大きく影響を与えるものでした。仕事に対する自己分析を深め、納得のいく就活を進めることとなる有意義な機会だと思っています。

トヨコウMEMORY★

趣味でやっている「合唱」。他大学の学生で構成されるサークルに参加し、パートリーダーを任せられるほどとなりました。国際交流ハウスにおける外国人学生や研究者も交えた有志イベント「Ti-House Party」において、トヨコウの仲間の前で、日ごろの練習の成果を披露できたことがとても良い思い出です。



学外サークルのメンバーと歌声を披露。吹き抜けのあるTi-Houseの交流ラウンジに美しいハーモニーが広がった

Hello



ほんだしほ
本田 志穂さん

Shiho Honda

- 向陽高等学校 [愛知県] 出身
- 2021年修士課程修了 (表面科学研究室)
- Forschungszentrum Jülich (HIMS/IMD-4), ISEA RWTH Aachen (ユーリッヒ研究所 アーヘン工科大学 電気化学専攻)

「無謀」を「夢」と「希望」に変え、
自分の世界を切り拓く

■「失敗」がいつしか「強み」に

豊田工大入学当初はマラソン同好会やバスケットボール同好会など、複数のサークル活動に参加しました。小さな大学ではありますが、何かのサークル活動に参加するとネットワークが広がり、先輩や教員と交流する機会が生まれます。そして、活動に打ち込めば打ち込むほど、その方々との交流は深まり、「大学ではこんな経験、研究ができるんだ」と少し先を知ることができたり、「こういう進路や生き方もあるんだ」と思考の広がりを感じたりと、好奇心が高まっていく感覚がとても新鮮でした。特にマラソン同好会では、早朝や

放課後にメンバーや先生方と、積極的に活動していました。

ところが、大学受験を乗り越えた解放感やサークル活動を掛け持ちしすぎたこともあり、勉強とのバランスをうまく保てず、留年の危機に。「このままではいけない」と我に返り、そこから文武両道の先輩方や先生方のサポートのもと猛勉強しました。

とはいえ、マラソンで身につけた朝型生活や忍耐、人とのつながりにより培ったコミュニケーション能力は入学当初の失敗から得られた「自分の強み」です。この強みを活かして勉強に打ち込めたのは、人と人の距離が近い「小さな大学」で学ぶことのメリットを最大限に活かしたことによるものだと思っています。

自学自習スペースや朝早くから夜遅くまで利用可能な図書館は活用しない手はなく、寮生活もあわせて、勉強に打ち込むのに豊田工大は最適な環境です。苦手だった「力学」も教授に何度も質問するなどして、まずは学力の遅れを取り戻すことに専念しました。最初は単位を取得することが目的でしたが、いつしか自分で突き詰めて考え、深く理解することの楽しさがモチベーションになり、その姿勢が認められ、学内のさまざまなチャンスを手にすることができたように思います。

豊田工大は
人とのつながりを
感じる大切な場所



研究グループのメンバーは

全員博士課程以上

■学内にある「国際的な刺激」で徐々に海外を意識

このころから得意ではなかった英語学習にも力を入れるようになり、iPlaza*1での活動に参加して英語に触れる機会が増えました。初めて挑戦したスピーチコンテストではあっけなく落選。周りの人の励ましもあり、その悔しさがモチベーションとなり、翌年以降も毎年参加して入賞を果たすなど、着実に実力をつけていきました。卒業時にE-SUP制度*2において英語最優秀賞を受賞するなど、学内にいながらも英語スキルを向上できる仕組みをうまく活用できたと思います。

また、学部4年生で表面科学研究室に配属。当時も女性の外国人研究者が在籍するなど、私のキャリアに影響を与える「多様性」が研究室にはありました。異なる価値観や考え方に触れる機会がさらに増え、少しずつ視線が海外へ及ぶようになりました。「あれもしたい、これもしたい」と好奇心や積極性が強すぎて、一つのことに集中することができず、英語力向上と研究の両立が図れない時期もあり、先輩から苦言を呈されることも。実力が伴っていないため「無謀」だと捉えられることもあったと思っています。

■「無謀」を「夢」「望」に変えていく

「無謀」ではいけない、少しずつ積み重ねた実力をつけないと結果は伴わない、と教えてくれたのは、私の大学生活の真髄、「マラソン」です。100km超のウルトラマラソンを2度完走したことも自信となり、「自分ならやれる」と挑戦することに躊躇しなくなったように思います。そして、修士課程1年次に留学して海外経験を積むことに方向を定め、紆余曲折を経てヴルカヌス・イン・ヨーロッパ*3に応募。1年間のドイツ留学の切符を手に入れることができました。

「無謀」と思われる数々の目標や挑戦も私にとっては「夢と希望」でした。

1年間の留学を終え、豊田工大で修士課程を終えた後、ヴルカヌス・イン・ヨーロッパで築いた人脈を活かして、アーヘン工科大学の博士課程へ進学。現在は博士論文の執筆に取り組み、博士号取得とドイツでの就職を目指しています。研究活動と並行して、仕事で使えるレベルまでドイツ語を上達させることが、今の私にとってとても重要な課題です。博士研究を遂行できる水準まで英語力を向上させた経験があるから、ドイツ語も自由に使いこなせるようになるという信じて、今も努力を続けています。

■「突き動かされるような強いモチベーション」に出会える大学生活！

これまでの道のりを振り返ると、すべては些細なきっかけの積み重ねでした。はじめは「無謀」と思われる目標でも構いません。途中で方向転換することも大きな問題ではありません。大切なのは、「自分が何になりたいのか」「何を成し遂げたいのか」という問いに向き合い、突き動かされるような強いモチベーションを見つけることです。今すぐ答えが出なくても焦る必要はありません。もし見つからなかったら、さまざまな人生の先輩に会い、「人とのつながり」からヒントを探るのも良いと思います。行動を続けることで、きっとどこかで共鳴するものに出会えるはず。マラソンのように、時には孤独に、時には仲間と、スピードをあげたり弱めたりしながら、一步一步あきらめずに前に踏み出す。そんな充実した大学生活を送ってください。

モチベーションを
高めあえる仲間は貴重な存在



*1: 語学教育、国際交流促進を目的とする学内施設。各種英語イベントを開催。
*2: TOEICへの取り組みやiPlaza活動を通じて、ポイントを獲得・蓄積する制度。
*3: 日欧産業協力センターが主催する日本の理工系学生を対象としたプログラム。EU加盟国での語学研修や企業でのインターンシップに参加する。

同窓会
Report

光機能物質研究室関係者による
講演会開催 (3/8)

大石泰文教授着任時に開設され、今年で23年目を迎える同研究室。中国や英国、米国、インドで活躍する外国人研究者9名を含む関係者が集結し、記念講演会を実施。参加者は「久しぶりに皆で大石先生を囲むことができ良かった」と感想を語り、交流を楽しみました。



海外から駆け付けた方も。研究を通じて深めた強い絆を感じます

(株)豊田自動織機「久方会」開催 (3/13)

同社に勤務する本学の卒業生・修了生が年に一度集結する「久方会」を開催。社会人学生として在学する2名も加わり、約50名が参加。学生時代の思い出話など、事業部や世代を超えた楽しいひと時を過ごしました。次回もこの時期に開催される予定で、「トヨコウ」の絆とつながりが深まることが期待されます。



10期生岸川さんがマジックを披露し、大いに盛り上がりました

6期生同窓会開催 (3/15)

28名が35年ぶりに再会。在学当時「久方寮」などは既にあり、伝統の一つ、大学祭「天樹(てんじゆ)祭」は、6期生の時代に命名。シンボルツリー「天樹」は健在であること、売店名に「天樹」を用いていること、「天樹」が大学にとって、今なお親しみのあるものであることを「誇りに思う」との声が聞かれました。



学籍番号+お名前でご紹介される方も多く、母校での思い出は色褪せていません

同窓会に関する情報は是非お寄せください。本誌が皆さまの旧交を温め、新たな繋がりを育む一助となれば幸いです。

本学教員および学生の、学外・学内における栄誉ある受章や顕著な受賞の記録をご紹介します。

教員

学外における表彰

山口眞史名誉教授が紫綬褒章を受章

令和7年春の褒章において、山口眞史名誉教授が紫綬褒章を受章しました。紫綬褒章は、科学技術分野における発明・発見や、学術およびスポーツ・芸術文化分野における優れた業績を挙げた人物に授与される褒章です。現在の宇宙用太陽電池の主流である高効率インジウムガリウムリン(InGaP)系多接合太陽電池の実用化に大きく貢献した功績が評価されました。

宇宙用の太陽電池では、安定した衛星軌道のために小面積で十分な電力が得られる必要があることから、太陽光を効率良く利用する必要があります。また、宇宙空間に存在し、電池の出力低下をもたらす放射線への耐性も重要になります。

こうした課題に対して、複数の半導体材料からなる太陽電池を接続する際の新たな構造として、ダブルヘテロ構造トンネルダイオードを提案することで、従来の結晶シリコン(Si)太陽電池の変換効率20~25%に対して、実用効率として35%以上の高効率を達成しました。また、優れた放射線耐性を有するInGaPを見だし、従来の2倍以上の放射線耐性を実現しました。

こうして開発されたInGaP系多接合太陽電池は、今や、気象衛星「ひまわり」や宇宙ステーション輸送機「こうのとり」など、ほとんどの人工衛星に搭載されており、その技術は現代社会の発展に大きく貢献しています。



山口眞史名誉教授

山口眞史名誉教授が応用物理学会業績賞(研究業績)を受賞

山口眞史名誉教授が、第25回(2024年度)応用物理学会業績賞(研究業績)を受賞しました。同賞は、応用物理学の発展に顕著な業績を挙げた会員に対して贈呈され、応用物理学に関連する研究分野において、発明、発見あるいは研究・開発を通して、学問分野や産業分野へ大きく貢献した業績が受賞対象となります。山口眞史名誉教授は、高効率太陽電池の研究で卓越した成果を挙げ、太陽電池の技術的発展と、持続可能なグリーンエネルギー社会の実現に大きく貢献した功績が評価されました。



恒川好樹名誉教授が瑞宝小綬章を受章

令和7年春の叙勲において、恒川好樹名誉教授が瑞宝小綬章を受章しました。瑞宝小綬章は、多年にわたり教育研究に従事し、国家または公共に対する功労が顕著である人物に授与される勲章です。恒川名誉教授は、鋳造工学、溶射工学、超音波工学の分野での研究と教育において顕著な業績を有し、学生部長として大学運営に貢献した功績が評価されました。



恒川好樹名誉教授

受章名	受章者	受章の理由になった業績
紫綬褒章	山口眞史 名誉教授	超高効率太陽電池に関する先駆的研究開発とその実装
応用物理学会業績賞(研究業績)		超高効率太陽電池開発とその実用に関する先駆的研究
瑞宝小綬章	恒川好樹 名誉教授	研究活動、学生部長としての功績

教員

学内における表彰

豊田奨学基金 研究賞 研究業績賞・研究進歩賞・研究奨励賞

〈研究業績賞〉 本学教員が個人または共同で行った研究であり、学術あるいは技術の発展に寄与し、大いに社会に貢献すると認められる研究に対し、その業績を顕彰することを目的として授与する。

〈研究進歩賞〉 優れた研究を活発に進めて注目すべき成果を達成し、さらに大きな発展が期待できる研究に対し、その顕彰と奨励を目的として授与する。

〈研究奨励賞〉 本学教員およびポストドクトラル(PD)研究員が本学で行った研究であり、今後の進展が大いに期待される萌芽的研究に対し、さらなる研究推進を奨励することを目的として授与する。

受賞名	受賞者(研究室)	研究業績・テーマ
業績賞	大石泰文 教授(光機能物質)	低融点ガラス高非線形光ファイバの創生とその応用
進歩賞	富沢真也 教授(数理物理学)	位相検閲定理が予言する新しいブラックホール
奨励賞	阿南静佳 助教(高分子化学)	高い規則性を持つ金属-有機構造体とソフトマテリアルの融合化



(前列左から)阿南助教、大石教授、富沢教授

学生

学外における表彰

※受賞者の()内は出身校または在籍企業名

学会表彰

各学会から、人格・学業共に優秀であると認められた学生に授与する。

受賞名	受賞者	研究室
自動車技術会大学院研究奨励賞	山根大輝 (豊田工業高等専門学校[愛知県])	固体力学
日本機械学会三浦賞(修士)	片山徹哉 (豊田工業高等専門学校[愛知県])	マイクロメカトロニクス
日本設計工学会武藤栄次賞優秀学生賞	岡本航紀 (麗澤高等学校[千葉県])	流体工学
日本機械学会島山賞(学部)	和井内琴理 (掛川西高等学校[静岡県])	スピントロニクス
計測自動制御学会SICE優秀学生賞	佐藤健吾 (向陽高等学校[愛知県])	制御システム
計測自動制御学会中部支部賞学業優秀賞	鬼頭佑昇 (名古屋大学教育学部附属高等学校[愛知県])	制御システム
電気学会東海支部長賞	高橋淳 (浜松北高等学校[静岡県])	半導体
電子情報通信学会東海支部学業成績優秀賞	横山要 (岡山工業高等学校[岡山県])	知能情報メディア

学生

学内における表彰

豊田奨学基金賞

学業成績・人物共に特に優秀な学生に授与する。

区分	受賞者	研究室
学部	佐藤健吾 (向陽高等学校[愛知県])	制御システム
修士	和井内琴理 (掛川西高等学校[静岡県])	スピントロニクス

派遣企業の会 社会人学生優秀賞

研究・学修に励んできた優秀な社会人学生に授与する。

区分	受賞者	研究室
学部	三島輝瑠 (株式会社デンソー)	知能数理

英語優秀賞

学部卒業時に、英語Step-Up Point (E-SUP) 制度*の獲得ポイントが上位の学生に授与する。

受賞名	受賞者	E-SUP ポイント	研究室
英語最優秀賞	上野航希 (トヨタ自動車株式会社)	470	知能数理
	栗原耕 (日本大学藤沢高等学校[神奈川県])	378	流体工学
英語優秀賞	河合健斗 (トヨタ自動車株式会社)	297	知能情報メディア
	佐藤健吾 (向陽高等学校[愛知県])	253	制御システム

※英語Step-Up Point (E-SUP) 制度…入学から卒業まで継続的に英語を学ぶことを狙いとした本学独自の制度。TOEIC® L&R (公開およびIPテスト)への取り組みをはじめ、各種英語イベントへの参加などを通じてポイントを獲得する。なお、卒業には100ポイント以上獲得することが必要となる。



修了式にて豊田奨学基金賞を受賞する和井内さん



英語優秀賞を手にした(左から)河合さん、栗原さん、佐藤さん(上野さんは留学中で不在)

2024年度久方寮サポーター優秀賞 ~寮生活活性化へ貢献~

受賞者 学部3年 加藤一翔さん(株式会社豊田自動織機)
学部2年 漆畑幸星さん(株式会社小糸製作所)

久方寮サポーター優秀賞は、学生寮「久方寮」において、サポーターとして新入生の指導に努力した学生や寮運営に寄与した学生に贈られる賞です。サポーター活動は、学生のリーダーシップを育成し、さらには学生全体の主体性を高めることを目指しています。

今回は社会人学生である2名が受賞。「勉強面では大学入試の勉強を乗り越えてきた後輩たちの学力に感心することもあります。突き詰めて考えることが必要な大学の学修に対して、根気強く取り組む姿勢を示すことは、私たちサポーターの大切な役割だと感じています。寮生活がより充実したものとなるよう、これからも工夫を重ねていきたいです」と語りました。



保立学長から賞状を受け取った漆畑さん(左)と加藤さん(右)。齋藤学生部長がさらなる活躍に期待を寄せる



NEWS FILE

豊田工業大学の今を伝えるニュースやトピックス

ホームページもCHECK



Feature News

FILE 01

4/2

新入生オリエンテーション 「久方寮ガイダンス・入寮式」を実施しました

久方寮は今年度より「初年次シェアハウス型入寮制」として再出発し、この春新入生を迎え入れました。多様な価値観に触れ、豊かな人間性を培う場である久方寮。寮生として共に暮らす仲間との親睦を深めるために、新入生全員と頼れる先輩である「学生サポーター」が自己紹介などを行う「久方寮ガイダンス」を実施。寮の組織である「寮生委員会」の各委員サポーターによる活動紹介なども行いました。新入生はいずれかの委員会に所属し、各種委員会活動に参画します。充実した寮運営を実現しながら、サポーターと共に大きく成長していくことに期待が寄せられます。



←学部3年の石垣真冬さん(写真右:帯広柏葉高等学校[北海道]出身)と学部2年の後藤佑陽さん(左:滝高等学校[愛知県]出身)は、学習サポーターの役割を説明。苦手とすることが多い科目での「学び」を例に挙げ、「理解することの喜び」へ、どう変化したのか、自身の経験について語りました。学ぶことの面白さが分からず、挫けそうなときはサポーターに相談するように呼びかけ、「ともに、学び、感動しよう」とメッセージを発信しました。

FILE 02

2/10

マレーシア・マラ工科大学の 教員一行が本学を訪問

マレーシアは現在、国を挙げて各大学の国際交流に注力しており、本学は「産業界との深いつながり」を特長の一つとしていることから関心が寄せられ、本学キャンパスにマラ工科大学の教員2名が視察に訪れました。両学の大学紹介や情報交換などを通じ、今後の交流の可能性について積極的な意向が寄せられ、「モノづくりへの情熱」という共通の想いのもと、本学への理解を深めました。



豊田佐吉翁の発明品 豊田式木製人力織機前で記念撮影

FILE 03

3/5

第5回次世代文明センター シンポジウムを開催

混迷する世界情勢を考える機会として、今年度のシンポジウムは「今こそ暴力和平和について考える」というテーマで開催。国連や日本政府の代表として各地の紛争現場に赴き、紛争予防や平和構築などに奔走された経験を持つ、東京外国語大学 名誉教授 伊勢崎賢治氏が登壇しました。今回は講演に組み込む形で、伊勢崎先生によるトランペットと坂本千恵氏による電子ピアノのライブ演奏も行われました。



「言葉」と「音」が織りなす力強いコラボレーションをお届け

FILE 04

3/6

2024年度研究センター シンポジウムを開催

2017年3月に設立した「スマート光・物質研究センター(センター長:大石泰丈教授)」のシンポジウムを開催しました。早稲田大学 理工学術院 教授 青木隆朗氏による「ナノファイバー共振器QEDに基づく新方式量子コンピュータハードウェアの開発」、東京大学大学院 理学系研究科 教授 合田圭介氏による「細胞のウォーリーを探せ!」と題した招待講演のほか、本センターの研究成果の発表を行いました。



東京大学大学院 理学系研究科 教授 合田圭介氏

FILE 05

3/11

チュラロンコン大学の 学長一行が本学を訪問

タイ・チュラロンコン大学のWilert Puriwat学長はじめPalanee Ammaranon国際担当副学長、他3名が本学を訪問しました。研究面については、半導体など共同研究における分野の拡大、教育面では、双方での留学生受け入れ制度の充実など、積極的な意見交換が行われました。チュラロンコン大学と本学は2006年度に大学間協定を結び、これまでにさまざまな連携実績を重ねてきました。今回の訪問によって、両大学の理解が深まり、交流が活発化され、具体的な協力基盤の構築などに繋がることが期待されます。



人事紹介

NEW FACULTY

副学長

中野 義昭

Yoshiaki NAKANO



主な経歴 MAIN CAREER

1992年 4月 東京大学 工学部電子工学科 助教授
2000年10月 東京大学 大学院工学系研究科 教授
2002年 4月 東京大学 先端科学技術研究センター 教授
2010年 4月 東京大学 先端科学技術研究センター 所長
2013年 4月 東京大学 大学院工学系研究科 教授
2025年 4月 本学副学長・教授に就任

主な研究分野 Main Research Fields

新しい高性能な半導体レーザや半導体光制御デバイス(光変調器/スイッチ、偏波制御器、光アンプなど)と、これらのデバイスを集積化して構成される高機能な半導体集積光デバイス・光集積回路を研究しています。新しい高効率な太陽電池の研究開発も行なっています。これらデバイスを作製するための化合物半導体量子マイクロヘテロ構造の結晶成長や微細加工技術も研究対象です。

FILE 06

3/17

東海テレビ「ミライCREW」白川大樹さん出演

修士課程2年/流体工学研究室の白川大樹さん(一宮高等学校[愛知県]出身)が「ミライCREW ~夢に向かってテイクオフ~(東海テレビ3/17放送)」に出演。「空の流れを計測する手法を革新することで、未来の乗り物を開発する」をテーマに自身の研究活動などを発信しました。研究室ではレーザを使った流速計測法について研究している白川さん。JAXAにおいて、特殊なレーザを使い得られたデータを研究員の方と共に考察した経験などを番組内で語りました。本学での研究活動やJAXAでの実験経験などを通じて培った能力を活かし、「独自のアイデアと手法で、斬新なモビリティを開発する」という夢を、この春、社会人となった後も追求し続けます。白川さんの出演回の映像は下のQRコードからご覧いただけます。



(上)さまざまな大学の学生が出演するミニ番組。ナレーションは松井珠理奈さんです(下)流体工学研究室をはじめ、学内各所で収録を行いました

出演回の
映像はこちら



機能半導体
デバイス研究室
准教授

中西 翔

Sho NAKOSAI



主な経歴 MAIN CAREER

2015年 4月 理化学研究所 基礎科学特別研究員
2018年 4月 名古屋大学 工学研究科 研究員
2023年 5月 名古屋大学 未来エレクトロニクス創成加速
DII協働大学院プログラム 特任助教
2025年 4月 本学准教授に就任

主な研究分野 Main Research Fields

固体物質中の電子の挙動を研究対象とし、特に表面や界面に特異的に現れる電子状態をもたらす輸送現象を扱ってきました。AIや通信技術の発展に伴い半導体の重要性がますます高まる一方で、従来の微細化技術は物理的・技術的な限界を迎えつつあります。デバイス中の電子状態を微視的に理解し優れた特性を持つ半導体材料や動作原理を探索することで、性能の飛躍的向上を目指していきます。

表面科学研究室
助教

DE SILVA,
Kanishka



主な経歴 MAIN CAREER

2019年 5月 豊田工業大学 PD研究員
2022年 6月 豊田工業大学 専任研究員
2022年 7月 名古屋大学 特任助教
2025年 5月 本学助教に就任

主な研究分野 Main Research Fields

My research focuses on the fabrication of nanocarbon-based materials and their applications. I have previously worked on 2D carbon materials like graphene and graphene oxide. Currently, I am developing carbon-based non-noble metal catalysts for sustainable ammonia (NH₃) synthesis.

COLUMN #1

創造性開発センターで工学を極めよう!

自分の目で「原理」を確かめる過程を楽しもう 新入生へのメッセージ

創 造性開発工房とクリーンルームで実施する、学部1年次の「工学リテラシー」では、さまざまな「モノづくり」の方法を学修します。発生する現象や結果を観察、測定することが皆さんにとって、「モノづくり」を学術的に考えるきっかけとなることを期待しています。最初から、測定は機械任せ、記録はスマホのカメラで、というような安直な考えを持たず、時間はかかっても、自分の目でつぶさに観察して、手を動かして原理を確かめるという過程を大事にしてください。



創造性開発工房 (Eiji工房)
Detail ▶



共同利用
クリーンルーム
Detail ▶



「工学リテラシー」では、本学教員とトヨタ自動車(株)・(株)デンソー・三菱電機(株)などで長年実務経験がある技術指導員が指導を行っています。

Entrance Exam Results

2025年度入試結果 (4月1日時点)

		入試区分	入学定員	募集人員	志願者	受験者	合格者	
工学部	一般選抜	一般入試	100	65	1,074	1,003	230	
		大学入学共通テスト利用入試			1,005	1,005	350	
	学校推薦型選抜	公募推薦入試		17	27	27	16	
		指定校推薦入試						
	特別選抜	帰国生徒入試			若干名	1	1	1
		国際バカロレア入試				0	0	0
		外国政府派遣留学生入試				0	0	0
	社会人入試(内編入学試験)		18(若干名)	15(0)	15(0)	12(0)		
	高等専門学校卒業予定者を対象とする第3年次編入学試験		6	6	17	15	13	
大学院修士課程	一般選抜		50	50	63	54	48	
	学部3年次学生を対象とする特別選抜				0	0	0	
	早期卒業予定者対象特別選抜				0	0	0	
	社会人特別選抜				0	0	0	
	ダブル・ディグリー・留学生入学資格審査				若干名	1	1	1
大学院 博士後期課程	夏季選抜(一般・社会人)		12	12	0	0	0	
	冬季選抜(一般・社会人)				2	2	2	
	留学生特別選抜				2	2	2	

COVER STORY

進むなら、足跡のない方へ。



今枝 寛人さん
(丹羽高等学校[愛知県]出身)
博士課程1年/
スピントロニクス研究室

筆頭著者として執筆した研究論文が学術雑誌で「注目論文」の一つに選出

「スピントロニクス」とは、「電子スピン」と「半導体技術によって発展したエレクトロニクス」を融合した新たな分野で、私が所属する研究室の名称にもなっています。「スピントロニクス」を熱流センサに応用する際の課題をもとに、新たな複合材料に注目したことで、従来と比べ4倍程度大きなセンサ感度の実現に成功。この修士研究での成果が学術雑誌で評価を受けました。博士課程ではさらに[材料探索を進め、メカニズムを解明し、スピントロニクス型熱流センサ]の開発に向けて、成果を世界に発信していきたいです。

詳しくは Webで!